

市民集会 いま、裁判がおそろしい

——裁判員制度の時代の死刑と人権——

2009年5月、裁判員制度が「司法改革」の総仕上げとして導入されました。「一億総死刑執行人時代」の到来です。一方で、足利えん罪事件が象徴的に示すとおり、刑事司法の病根は今やだれの目にも明らかです。DNA鑑定のずさんな実態、それを見抜けなかった裁判官の無能、取調の全面可視化の必要性、等々、議論すべき点は多々あります。

死刑制度は今や、ポピュリズムとバイオテクノロジーをふりかざして暴走を始めたかに見えます。

わたしたちはどのような時代に生きているのか。何が変わったのか。何を变えるべきでないのか。今回の市民集会においては、犯罪報道を軸に人権をめぐる積極的に発言してこられた浅野健一さん、死刑について取材を続けてこられたジャーナリストの青木理さん、そして全国各地で死刑廃止に向けて取り組んできた方々を仙台に迎え、裁判員制度の時代における死刑制度と人権について考えたいと思います。

- | | |
|----|---|
| 日時 | 10月24日(土) 13:30~16:00 |
| 会場 | エルパーク仙台5階 セミナーホール |
| 内容 | 第1部 講演「裁判員制度の時代の死刑と人権」
講師 浅野 健一氏(同志社大学教授・メディア学) |
| | 第2部 シンポジウム「いま、裁判がおそろしい」
安田 好弘氏(弁護士)
青木 理氏(ジャーナリスト・「絞首刑」著者)
浅野 健一氏(同志社大学教授)
永井美由紀氏(関西・救援連絡センター)
舟木 友比古氏(弁護士・コーディネーター) |

資料代 500円

浅野健一さん 1948年生まれ。共同通信社記者を経て、現在、同志社大学教授(メディア学)。著書『犯罪報道の犯罪』『天皇の記者たち』『報道加害』の現場を歩く』他多数。

主催 死刑廃止全国交流合宿 2009 in 仙台 実行委員会

連絡先 死刑廃止連絡会・みやぎ

(仙台市青葉区八幡 3-7-23 TEL022-261-4251)